

学力向上フロンティアスクール用中間報告書

(都道府県 富山県)

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	高岡市立芳野中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	7	7	1	22	44
生徒数	270	262	275	4	811	

研究の概要

1. 研究主題

学力の向上を目指し、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を展開するにはどうすればよいか。

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・ 全学年・全教科 (全校体制で取り組むため)
- ・ 特に、1～3年数学 (理解度の差が大きいため)
1～3年選択教科 (基礎的・基本的な内容の定着を図るため)

(2) 年次ごとの計画

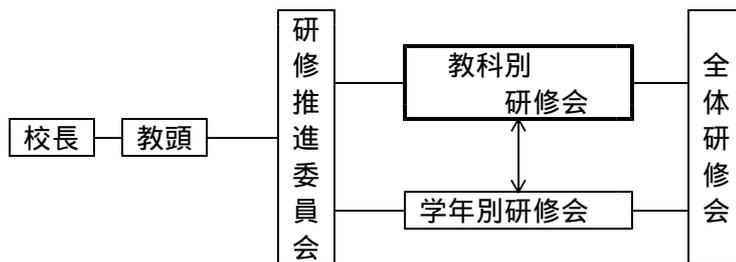
平成14年度	<p>テーマ 生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな学習指導を展開するにはどうすればよいか。</p> <p>仮説 1 学力について考察し、本校の生徒につけたい学力を焦点化して指導に当たれば、学力の向上につなげることができる。 2 基礎的・基本的な内容を習得させ個に応じた指導の工夫をすれば、学習意欲を高めることができる。</p> <p>研究内容・方法 (1) 学力をどうとらえるか研究する。 (2) 必修教科の指導の工夫と改善を図る。 (3) 選択教科における補足的・発展的学習の進め方を工夫する。 (4) 学習意欲を高める評価の在り方について研究する。</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 学力の向上を目指し、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を展開するにはどうすればよいか。</p> <p>仮説 1 本校の生徒につけたい学力を分析し、指導の場や方法を工夫すれば、学力の向上につなげることができる。 2 個に応じた指導を工夫し、基礎的・基本的な内容を身に付けさせられれば、生徒の学習意欲がいつそう高まり進んで学習に取り組むようになる。</p> <p>研究内容・方法 (1) 学力の実態分析と向上のための方策について研究する。 (2) 必修教科においては、年度の重点単元を設定して指導の工夫と改善を図り、研究実践を累積する。 (3) 選択教科の選択コースの充実、習熟度別学習や選択ステップアップタイム (生徒のニーズに応じた学習) の取り組み方を工夫する。 (4) 生徒の学習意欲を高める評価の在り方や到達度別評価問題について研究する。</p>
--------	--

平成	<p>テーマ 学力の向上を目指し、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を展開するにはどうすればよいか。</p> <p>仮説</p>
----	---

16 年 度	<p>1 本校の生徒につけたい学力を分析し、指導の場や方法を工夫すれば、学力の向上につながるができる。</p> <p>2 学習意欲が高まり、進んで学習に取り組むようになれば、自ら課題を見つけ追究する総合的な力としての学力の高まりが期待できる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 学力の実態分析と向上のための方策について研究のまとめをする。</p> <p>(2) 必修教科においては、年度の重点単元を設定して課題学習としての指導法の工夫と改善を図り、研究実践を累積する。</p> <p>(3) 選択教科の選択コースの充実、習熟度別学習や選択ステップアップタイム（生徒のニーズに応じた学習）の取り組み方を工夫する。</p> <p>(4) 生徒の学力を診断し、向上を目指すための評価について研究する。</p>
--------------	---

(3) 研究推進体制（平成15年度）



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

研究の成果

1	<p>学力について</p> <p>(1) 学力を多面的にとらえるため、昨年度から継続して「本校が考える学力16項目」に基づき学力向上の取り組みを方向づけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力をよりとらえやすくするために、『文章が書ける。(基礎学力)』を『読み手に自分の考えや気持ちがわかるように文章を書くことができる。(基礎的な学力・書く)』や『相手を納得させる発言ができる。(親助)』を『相手が納得できるよう、論理的に発言することができる。(プレゼン能力)』のように文言の見直しをした。 今年度は生徒にも「本校が考える学力16項目」を明確に提示した。生徒は学ぶことの意義を理解し、学習意欲を高めた。 <p>(2) 小・中が連携し、学力の見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校、中学校相互に授業を公開し、協議会、講演会にも参加し、児童生徒の実態や学びの連続性について理解を深めた。 新1年生対象の学力調査を小学校と協力して作成、実施することにより、小学校の学習内容やその到達度などが具体的にわかり、指導に生かすことができた。 <p>(3) 富山県中学校教育研究会学力調査（11月、4月実施）の本校の結果と県の平均、分析結果とを比較し、各教科の指導に生かした。</p>
2	<p>指導方法の工夫と生徒の学習意欲の向上</p> <p>(1) 教科部会を中心とした研修体制とし、各教科部会で教材分析を十分に行い、評価規準を明確にし、指導法や評価方法の工夫、改善に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上をめざして教科ごとに設定した研修重点内容に即して、個に応じた授業展開の工夫や教材開発などを行い、生徒の学習意欲を喚起することができた。また、研究授業や授業の互見を通して、多様なアプローチの仕方を教師自身が学ぶことができた。 国語・数学・英語の3教科では補充的な選択授業を行い、基礎的・基本的な内容の定着を図った。到達度を考慮した、段階を踏んだ認定制を取り入れることで、学習意欲が喚起され、また、家庭学習の動機づけにもなった。これらの実践内容についてはファイル、フロッピーディスクで累積し、次年度以降も活用していく。 <p>(2) 学力補充の機会をできるだけ多く設けて、わかる喜びを味わわせた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中の質問・補充教室を学校や校区の公民館数か所で行った。生徒の要望に応え、今年度は週2日、午前・午後各2時間ずつの開設とした。

- ・ 補充的な選択授業で取り入れた認定テストの再挑戦の場を随時設定し、生徒の意欲づけを図った。
- ・ 定期考査の前には全学年で質問教室を開き、生徒の理解を助ける指導を行った。

今後の課題

- 1 学力向上の柱となる、指導方法の工夫や教材開発、研修体制の在り方という点においては、成果があったと思われるが、評価の点ではまだまだ取り組みが不十分であった。客観的に生徒の学力を分析・評価し、到達度の低い項目についてはきちんと指導することで確かな学力の向上を目指したい。
- 2 基礎的・基本的な内容の定着においては意識をもって取り組むことができたが、より意欲的に学ぶ手立てとして、生徒の思考の流れに即した授業 課題学習 を展開し、自ら課題を見つけ追究する総合的な力としての学力を身に付けさせたい。

学力把握のための学校としての取り組み

- 1 習熟度別に少人数指導を行う際に、事前に診断的学力調査を行い、コース分けにその結果を活用する。
- 2 日常的に授業ごと、単元ごとに小テストを行い、目標に対する到達度を確認しながら学習を進める。
- 3 定期考査から生徒の学力を評価し、次の指導に生かす。
- 4 富山県中学校教育研究会作成の学力調査を利用し、本校生徒の学力の診断を行う。
- 5 新1年生用の学力診断テストを作成し・実施し、小学校での学習の到達度を把握し、次の指導に生かす。
- 6 目標基準準拠検査（CRT）を実施し、五教科における生徒の目標到達度を分析し、次の指導に生かす。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ Web ページ上で実践事例など、取り組みを紹介。

* 本校 Web ページ <http://mps.city-takaoka.jp/yoshino/home.sap>

- ・ 平成16年度 地区中学校及び校区小学校へ授業公開、講演会開催の予定（11月）

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|---|---|--|---|
| 【新規校・継続校】 | 15年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 3学級以下
7～9学級
13～15学級 | 4～6学級
10～12学級
<input checked="" type="checkbox"/> 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導
その他 | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語
<input checked="" type="checkbox"/> 外国語
<input checked="" type="checkbox"/> 保健体育 | <input checked="" type="checkbox"/> 社会
<input checked="" type="checkbox"/> 音楽
その他 | <input checked="" type="checkbox"/> 数学
<input checked="" type="checkbox"/> 美術 | <input checked="" type="checkbox"/> 理科
<input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 | |